

OROP
RAP
S

さっぽろ 東本願寺

No,246

2026 5月号

行事報告	01
雲龍柳	02
今月のことば	03
お寺さんに聞いてみよう	04
門徒のおしごと	05
ひがほんっ子だより	06
法話 梅溪 真人	07,08
無盡蔵	09
連載 近代の教学者	10
すすきの探訪ツアー	11
共生	12
おしらせ	13,14

勿忘の鐘

（震災から15年）

3月11日、東日本大震災を偲ぶ「勿忘の鐘」が行われた。

震災が発生した午後2時46分、坂田智亮輪番の一打目に続き約15名の参加者が鐘を撞いた。その後、本堂にて正信偈の勤行が行われ、坂田輪番より法話があった。

仙台教区の呼びかけに応じて始まった札幌別院での「勿忘の鐘」も今回で10回目。震災から15年の年月が経ち被



▲一打目を撞く坂田智亮輪番



▲復興と支援の思いを繋げる勿忘の鐘

災地のインフラや建物は復旧しつつあるが原発事故の影響が残る地域など未だ帰宅が困難な地域もある。何より震災によって傷ついた人々の心や生活を立て直すのは壊れた建物を直すよりもずっと難しいことであろう。今後もし決して忘れることなく復興と支援の思いをつなげ、被災した人々に寄り添うべくこの取り組みを続けていく。

春彼岸会報告

（うららかなる陽光の下で）

3月17日から20日にかけて、春の訪れを感じる穏やかな日差しの中「札幌別院春季彼岸会法要」が厳修された。

講師として17日・19日は寺林彰則氏（虻田郡豊浦町教心寺）、20日には梅溪真人氏（北海道教区駐在

教導）にお越し頂き、御法話を頂いた。法要期間中約120名の方が参詣され、熱心にご聴聞されていた。

また、納骨堂や無量寿堂にも多くのご家族が来られ、心静かに手を合わせていた。

ガチャガチャ

「かしわちゃんストラップ」



札幌別院公式キャラクター「かしわちゃん」のガチャガチャ第2弾が登場！

絵柄はシークレット含む3種類で会館2階カフェスペースにて設置中です。

退職者挨拶

この度、3月末日をもって札幌別院を退職いたしました。

時間が流れるのは早いもので奉職させていただいて4年間が経ちました。札幌別院では、毎朝の本堂でのお参り前に内陣の荘厳(掃除)をするのですが、新人の頃、若手の先輩方と先を争って清掃していたのが昨日のことに思い出され

ます。
札幌別院に来た当初の私は、「お寺のこととは何もできない」「はじめての北海道でどう生活していけばいいのかわからない」と、不安に感じていましたが、次第に札幌別院で過ごす毎日は私にとって心地よい学びの日々となりました。

今後は、生活の場を福岡県の実家のお寺に移し、よりいっそう精進していきま

曲 尚之



支院通信 北支院

永代納骨堂が完成

令和7年12月、北支院の一階ホールを改装し、新たに永代納骨堂が完成致しました。

この納骨堂はお骨を一体ずつ納める事ができる造りになっており、新規での納骨はもちろん、北支院納骨堂や外部の納骨堂、墓地霊園等から墓じまい等により改葬されたお骨を納骨する事も可能です。

納められたお骨は北支院が責任をもってお預かりし、永代にわたりおつとめさせていただきます。

冥加金 15万円〜35万円



雲龍柳

うんりゅうやなぎ

「春眠暁を覚えず」と言ったのは、唐代の詩人・孟浩然だ。のどかな春の朝は寝心地がよく夜が明けたことにも気づかない。こんなのかなかな情景はもう懐かしさどころではなく、遠い昔の事のように思えるようになって、世の中は様変わりを見ている▼昨今、国内外ともに兎に角、慌ただしい権力を振りかざして世界を翻弄し社会の不安を駆り立てる暴君は、いつ鳴りを潜めてくれるのだろうか。そして、世界の名もなき優しい人々の幸福を願ってくれるのであろうか?▼先月は釈尊の降誕会(花まつり)であった。白い像に花御堂をのせ街を練り歩き誕生仏に甘茶をかける風習は、次第に薄れつつあるようだ。「吾当に世において、無上尊となるべし」と比べることの出来ぬ一人の尊厳性を宣言された意義は途轍もなく深く金言である。毎年、札幌大谷幼稚園では稚児衣装を着け、花を手にもって花御堂の周りで歌ったり踊ったりと誕生を祝う。この法要は子どもたちにとっても得難い経験である▼先月、本山春の法要に参拝し、満開の桜を観賞することが出来た。桜は、美しさだけでなく、様々な表情をみせてうっとりさせてくれる、また、静けさや儂き切なき懐かしさなどの感情も抱かせてくれ風情があつて趣がある。その折、京都駅にて初の光景が目飛び込んだ。なんと「さくらよさこいまつり」だそう。高知・札幌から全国へ広がりを見せて、迫力ある演舞と歌に興じている。世の中全体がどこもこも享乐的・刹那的に動いていると思つてしまつたのは私の早とちりか▼豪気富楽自在なることを望み、栄華榮耀を好むのは如何ともしがたい人間に具わつた習性とは言え、すべては夢幻泡影に過ぎない。本願のいのりに身を据え聴聞に励む事の大切さを改めて思う。

(坂)

今月のことば

大事なことって
たいてい
面倒くさい

「世の中の大事なことってたいてい面倒くさいんだよ」日本のアニメ監督宮崎駿氏の言葉です。

4年前に母が亡くなり寺葬という形で葬儀を勤めました。小さなお寺ではありますが全部屋を使い切る程の、近年主流になりつつある家族葬と比べると大規模な通夜、葬儀でした。お参りに来てくださった母の兄妹や友人達、御門徒さんや近隣のお寺の住職達から、私が生まれる前の事や、坊守としての活動の事等、私が知らなかった母の姿をたくさん教えていただきました。そのことによって私の母としてだけでなく、69年の命を尽くしていった一人の人として改めて出会いなおすことができました。

面倒くさいというのは、手間や困難さを考えて気が進まないということです。コストパフォーマンスやタイムパフォーマンスという言葉をよく耳にしますが、現代の私たちの生活は効率と成果を大事にしています。その感覚からすると仏事というものは面倒なことに当てはまるのではないのでしょうか。仏

事離れ、仏事の簡略化の背景には手間、暇、金がかかって面倒くさいという考えがあるように思えます。私達が今まで面倒くさいと切り捨ててきたものの中にどれくらい大事なものが埋まっていたのでしょうか。

現在3月24日、原稿提出の締め切り前日の夜。原稿作成が終わったら習字もしなくてはいけない。年度末の会計業務をしなくてはいけないし、異動のための引っ越し準備の真最中、加えて本山春の法要の出仕準備も終わっておりません。しかしながら、このような機会が普段しない勉強をしたり、日々の自身の歩みを確かめるきっかけとなるのも事実です。ああ面倒くさい……

渡辺 晃仁



お寺さんに

聞いてみよう！

門徒になるには？

Q.

高齢の親や自分の先々のことを考えてそろそろお寺と関わろうと思っています。お寺の檀家になることを浄土真宗では「門徒になる」というそうですが、その門徒になるにはどうしたらいいですか？

A.

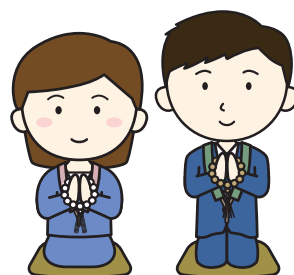
一口に「門徒になる」といっても時代や場所、その人の立場によって様々な受け取り方があるかと思えます。昔の文献などではある僧侶に師事する人々を指して「門徒」と言い慣わしていたことが多いようです。また、現代においても特定の宗派に属しておられる訳ではありませんが親鸞聖人の教えに共感し聖人の「門徒」だと自覚されている方もいるでしょう。

ここでは当派における「門徒になる」とはどのようなことかをお話いたします。現在の真宗大谷派の最高法規である「宗憲」には門徒について「教法を聞信して真宗本廟に帰敬し、寺院又は教会に所属する者を本派の門徒という」とあります。少々難しい言い回しですが、要するに親鸞聖人があきらかにされたお念仏の教えを大切にしてくよく聴聞すること、京都の真宗本廟（東本願寺）を本山として大切にすること、そしてどこかのお寺や教会に所属することが現在の真宗大谷派宗門において

「門徒になる」ということだと規定されています。

門徒になると宗門や寺院の護持の為に努める事が求められます。具体的には積極的にお寺の行事や法座に参加し聴聞したり清掃奉仕やお磨きなどに参加されたりすることが望ましいでしょう。

寺院に所属する切っ掛けは葬儀や結婚など様々ですが、ほとんどの寺院では広く門戸を開いていますのでまずは近所のお寺を調べて訪ねてみるのが良いでしょう。また各地には「教務所」という宗門の事務所がありそちらでも寺院の紹介をしてくれることがあります。もし引越しなどで土地を離れお寺の所属も移転したい場合などはまず所属しているお寺のご住職によく相談する事が肝要です。





北海道の「いつも」を楽しく

門徒のおしごと ～ サツドラ ～

今回紹介するのは皆さんも一度は買い物に行ったことがあるであろう「サツドラ」。創業は1972（昭和47）年、「サツポロドラッグストア」として手稲山口の15坪程の敷地に1号店が開業した。創業者の富山睦浩会長は根室出身。幼少の頃に北洋漁業や遠洋漁業に向かう船団が薬やドリンクを大量に購入する様子を見て、子供ながらに「薬屋さんは繁盛しそうな商売だな」と感じたことが薬屋を始めのきっかけとなる。創業当時会長は薬、副会長（奥様）は化粧品を販売していたが、時と共に移行くお客さんのニーズに答えて薬や化粧品だけ

ではなく、日用雑貨や食品まで幅広い商品を扱うようになり、今や我々の生活には欠かせないお店となった。創業10年目には8店舗まで増え、20年目には札幌圏以外にも出店し、道内外に店舗数が増えていった。現在は約200の店舗を経営し、道内のみならず福岡県や沖縄県、台湾にも店舗をかまえる。現社長の富山浩樹さんは変わりゆく時代の中で「健康で明るい社会の実現に貢献する」という創業当初からの経営理念を大切にしてお店作りをしている。



富山睦浩会長(左)、会長の奥様(中央)、富山浩樹社長(右)



創業当時の店内



【公式】
shop.satudora.co.jp

サツドラ北8条店（本店）

〒065-0008 札幌市東区北8条東4丁目1番20号
電話：(011) 299-2811
営業時間：月～日 9:00～21:50
駐車場：有り



札幌大谷幼稚園 ひな壇飾る「生きびなさま」!

大谷幼稚園の伝統行事の一つが、3月3日に開催する「ひなまつり」です。

この行事は、年長さんが本物さながらの「生きびなさま」に変身して行うもので、何と1929年(昭和4年)から始まり97年間の歴史を誇ります。

年中・年少さん・小さな組のお友だちは、その「生きびなさま」をあこがれのまなざしで見つめながら、女の子はお遊戯を踊ったり、男の子は歌を歌ったりとみんなが楽しく参加できる行事なのです。

「生きびなさま」は、子どもたちの意見を聞きながら配役を決めていき、2月に入ってから、まずは前の友だちとの間隔を空けながら

1歩1歩ゆっくりとした歩き方の練習から始まります。年長さんは何度も練習を積み重ね、当日を迎える頃には、表情もきりりとした面持ちに変わっていきます。

インターネットで「生きびなさま」を検索してみると、飛騨一宮水無神社の「飛騨生きびな祭」が出てきます。『春の訪れの遅い飛騨は、4月3日、ひと月遅れの「ひな祭り」を迎えます。神社は歴史も古く平安時代の創建のようですが、「飛騨生きびな祭」自体は大昔から続く伝統行事ではありません。歴史は比較的浅く、開始は1952年(昭和27年)です。』との記述があります。ひよっとして、「生きびなさま」が登場しての本園の「ひなまつり」は、日本で一番古い歴史を誇る行事なのかもしれません。年長さんにとって、卒園前の最後の大きな行事となる「ひなまつり」、本園で積み重ねて

きた取組の集大成として、真剣なまなざしでの凜とした姿を、チームおおたに「みんなですっかり後押ししました！」

札幌大谷幼稚園

園長 渡邊 元



ガひわちゃんの ゆる〜い日常



第9話

ものまね



法話

お浄土からのメッセージ

本日はお彼岸の中日で、春分の日でもあります。昼と夜の長さが同じになるこの時期に、西に向かって遙か彼方の西方浄土を願うという事が、仏教行事で行われてきました。浄土真宗において彼岸会とは、仏法聴聞をして念仏の意や教えを頂き、私も浄土に往生するものになっていくのだというだけで帰るのがこの法要だと思っています。

お彼岸とは「彼岸」と書きますがこれは彼方の「浄土」を思い浮かべた言葉です。それに対比して私たちの世界は「此の岸」、「穢土」といわれます。「浄土」とは清らかな場所であることに対して「穢土」は穢れた、汚れた場所だということですが、これは何も私たちのいる場所がゴミだらけだということではなく、そこにいる者のものの見方や考え方が穢れている、汚れているということ。私たちの物事をありのままに受けとめられないという視点が穢れているといわれるのです。

そんなことはない、私たちは嘘もつかないし、起こった事を素直に受け止めることが出来ていると思われるかもしれませんが。しかし私たちのものの見方にはどうしても私の都合というものが入ってきます。自分が得するように、損しないようにと右往左往して日々暮らしているのではありませんか。世の中のみんなが平和で幸せに暮らせるようにと願っていても、それが成り立たないのは私の都合により願いが変質してしまうからだと思います。

地獄・餓鬼・畜生の在り方

私の都合を優先する心を「煩惱」といい、煩惱によって形づくられている世界がこの穢土です。それに対して彼岸の浄土は、私たちの御本尊である阿弥陀如来が法蔵菩薩として修行をされている時に四十八の願いを立てられ、その願いが成就して如来となり建立されました。その願いの一番はじめには、「私の浄土には『地獄・餓鬼・畜生』がないようにします」ということが誓われています。彼此の対比関係から申すなら、浄土にそれがないということは、逆に私たちの世界は「地獄・餓鬼・畜生」という在り方が満ちているということを教えて下さっているのではないのでしょうか。

「地獄」とは孤独であり、誰も一緒にいる者がいない世界です。獄の字は獸同士がお互いに向き合って吠えている姿だといわれます。その様に互いに自己主張し通じ合うことがない世界が「地獄」であります。「餓鬼」は欲求深く満足することを知らない世界。「畜生」は自分で自分の事を引き受けることができない、主体性を失った世界です。

このような在り方が私たちの世界である穢土の中には現実として満ち溢れている。それを阿弥陀さまは見定められ、浄土にはそのような在り方がないと誓われ

ておられます。私たちのものの見方がいかに自分の都合によって汚れているのかということを願いによって知らしめてくださっています。

誰かが自分の都合を通せば別の誰かの不満が溜まる、私たちが生活の中でやっている事は結局主導権の取り合いだとも言えます。学校や会社、町内の寄り合いなど様々なグループがありますが、グループの中で主導権を取り合ってお互いに傷つけ合い自らをも傷つける、そんなことを繰り返して私たちは生きています。どんなに立派な人でもどんなに勉強を重ねても逃れることができない私たちの在り方を蓮如上人は「自損損他のが、のがれがたく」と仰います。そんなことは悲しくて痛ましい在り方だと、そんなことがない在り方を本当は皆求めているのでしょうかというメッセージを伝えてくれるのが浄土なのです。

軌道修正する歩み

皆様の記憶にも残っているかと思いますが、昔東京の秋葉原にて車で人だかりに突っ込み関係のない人たちを何人も殺してしまった事件がありました。今思い出してもとてもない事件ですし、そんなことで人の命が奪われるなどあつてはならないことです。しかし、事件の犯人が語った事は、私が学生の頃落ちこぼれて自暴自棄になっていた時に考えていた事と同じことを言っていたのでした。「世の中の人達は幸せに見えるのになんで俺だけこんな目に遭わなきゃいかんのや」と。自分自身を受けとめられず、世の中や環境や教育が悪いと自分の都合で考えていたのです。

ちよつとご縁が違えばそこにいたのは自分だったかもし

れない。自分の中にも多くの人を殺してしまった人と同じ心があるということをもまざまざと見せられるということがあると、いよいよ私たちが本当に求めるものは何かということが示されないととんでもない方向に生きてしまふのではないかと思うのです。

「なんまんだぶつ」といってもお金は増えませんが、病気も治りません。勉強ができるようになるわけでもありません。しかし、そんなことでは私たちの人生の価値は決まらぬ、損得勘定を超えたものが確かにあるのだということをお念仏です。浄土に触れさせていただくことによって、私たちが本当に求めている生き方ということに立ち返ることができるようになります。浄土からのメッセージを受けとめて、人生の軌道修正をしながら生きて行く一つ一つがこの今の何とも生きにくいような世の中を変えていく原動力になるのかもしれない。

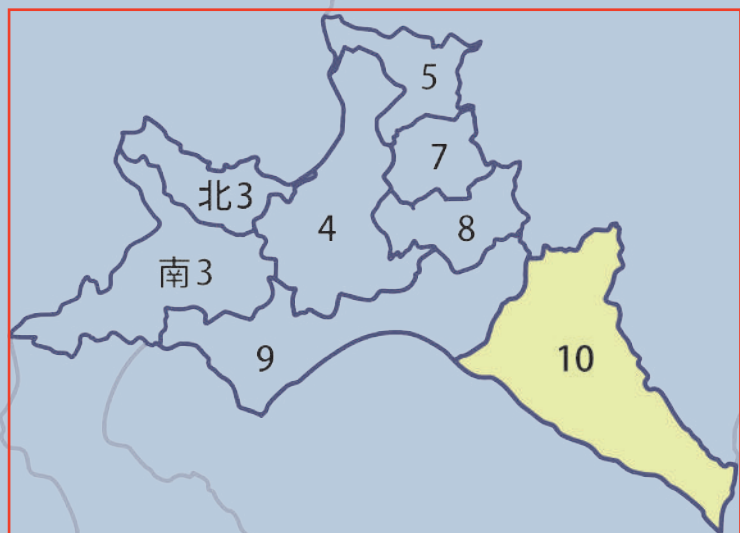


梅溪 真人（うめたに まさと）

本稿は2026年3月の
春季彼岸会法要の法話要旨です。

無盡蔵

崇敬区だより



アイヌ伝説親子岩

〔東日本大震災から15年〕

2011（平成23）年3月11日午後2時46分に発生した東日本大震災から今年で15年の歳月がたった。三陸沖を震源とした日本観測史上最大の巨大地震は東日本の沿岸部に大津波を発生させ、太平洋側にある日高地方も被害をうけた。様似町ではその時2m70cmの津波に襲われ、海沿いの民家での床下浸水、車両の水没等の被害も報告されている。高台に位置する各寺院が避難所になっており、智教寺でも避難を余儀なくされたご門徒だけでなく、町民の方も受け入れた。

当寺、松尾芭蕉の句で有名な松島では多くの島が自然の防波堤になって津波の被害が軽減されたそうだが、この様子にも自然が防波堤になり、津波の災害が大きく抑えられた場所があった。

「親子岩」といわれる海上に三つの岩が浮かぶこの場所にまつわる様子のアイヌ民族の伝説は絵本にもなっており子どもたちに伝わっている。



「ある時、東で起きた大きな争いに敗れた村の長は、一緒にいた自分の妻と小さな子どもの命を守るため、妻にその場から逃げ西に向かうよう命じました。妻は子どもを抱え、様似まで来ましたが、敵の追っ手も近づいてきます。『もう逃げられない』と大きな海を目の前にした妻は決意しました。子どもを抱きしめてそのまま海に入り、大きな岩へと姿を変えたのです。二人を追ってようやく海岸にたどり着いた長は、その二人の姿を見て安心します。『ああ、よかった！』そして自分も海に入り、さらに大きな岩になりました。遅れてやってきた敵側の長は大変悔しがった」というお話です。これが今の『ウンペレブンゲ（親子岩）』です。岩となったアイヌの長と妻とその子どもは津波から様似の人々を守ってくれているのです。

15年たった今でも大震災は日本中の人には忘れられない記憶である。おそらく「3・11の地震の時は何をしていましたか？」と尋ねると日本中の皆が「あの時は何処で何をしていた」と答えられるのではないだろうか。「あなたはこの教訓をどう感じ取りましたか？」と問われていることをこれからも忘れず生きていきたい。



第10組

智教寺 高塚法章

聞思第一の教学者

みやぎ しずか
宮城 顥

宮城顥は昭和から平成にかけて活躍した真宗教学者である。顥は知る人が、皆口を揃えて称する程「聞思」に生きた人物である。親友 藤元正樹も「人が仏法を語ることを聞く」人と評し、人々の言葉の中に見え隠れする本願と、その成就する姿を視点に生きる人であった。



宮城 顥 (本山より提供)

■ 生家～本福寺にて～

昭和6年、顥は京都市にある本福寺にて生を受ける。父の智定は「自分は終生、寺しゅうせいの住職以外の肩書きを求めない」と語り、その通りの生涯を全うした人物であった。物事について深く思索する智定には様々な分野の人と親交があり、多くの人々が寺を訪ねて来る環境の中で顥は凶らずも薫習を受けて育った。

■ 「師とは眠らせないもの、友とは酔わせないもの」

大谷大学へ進学した顥は生涯の友となる藤元正樹、大河内了義と出会う。彼らと共に安田理深を支持し仏道を歩めたことが、顥を現実に根を生やす教学者として大成させた要因である。何度も仏法談義を交わし、自分の信仰を確かめ合う師と友との出会いを晩年に至るまで憶念し、歩みを確かめたのだ。

■ 教学界への参画

昭和28年、大学を卒業した顥はそのまま本山教学研究所に助手として奉職し、現在も続く『教化研究』の創刊に携わった。26歳の時に出した『浩々洞』という論文が金沢大学暁鳥敏賞を受賞し、教学界に名を轟かせる事となる。そこから都合48年もの間、講義や執筆活動に従事する人生を送る。

■ 現実に則応する

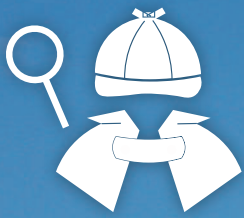
その後の教研では所員、副所長を経て(途中九州大谷短期大学発足の講師として離所期間有り)昭和51年、45歳にして教学研究所長に就任する。特に顥は教団問題に揺れたこの時代に、教学的知見から解決を図るべく奔走した。当時開かれた座談記録等は、今見ても息を飲むほど圧倒されるものがある。

■ 「汝、起ちて更に衣服を整うべし」

退任後は九州大谷短大の教授として学生たちの不安に寄り添い、全国各地の住職や坊守、有縁の方々と真向かいながら宗祖の教えを聞思する生き方を貫いた。最後の講演となった「親鸞聖人七百五十回御遠忌法要お待ち受け大会」では、宗祖の教えを自らの人生の問いとし、共に生きることが願われているのだということを、静かな語り口の中にも、強い意思を込めて後学へ伝えた。

宮城 顥 (1931～2008)

京都市に生まれる
大谷大学文学部卒業
大谷専修学院講師、教学研究所所員、真宗教学研究所所長を歴任
真宗大谷派本福寺前任職、九州大谷短期大学名誉教授



すすきの探訪ツアー

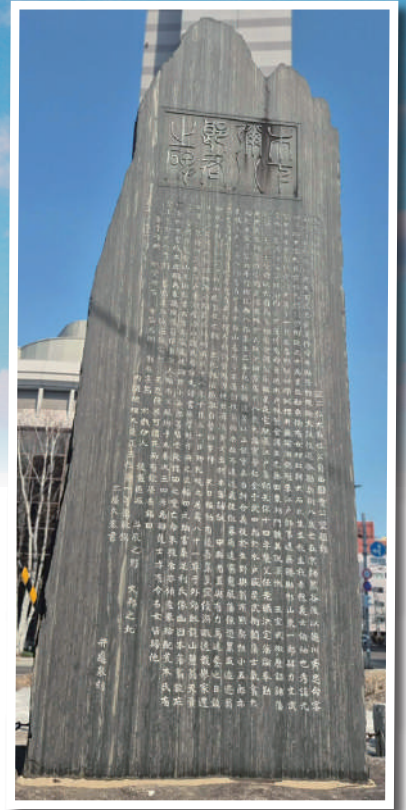
祭囃子の音が聞こえると、札幌の短い夏がいよいよ始まる。そんな感覚を覚える人は少なくないだろう。初夏の街に軽やかに響く太鼓と笛。そのリズムの源流をたどると、意外にも激動の時代へと行き着く。

札幌の夏を代表する北海道神宮祭、所謂「札幌まつり」の渡御で奏でられる囃子の原曲は、慶応四年に生まれた日本初の軍歌「トンヤレ節」とされる。函館戦争の余燼がなお燻る中、昨日の正義が今日には覆るような不安定な時代において、その行進曲は人々の心を纏め、新しい時代へと踏み出すための鼓舞となったのかもしれない。

現在、北海道神宮には、北の大地を守る大国魂神、国造りと縁結びの神である大那牟遲神、医薬や知恵を司る少彦名神、そして近代日本の礎を築いた明治天皇の四柱が祀られている。



▲大正六年大日本職業別明細図 部分抜粋



▲木下邸跡地 石碑



▲出典：「木下成太郎先生伝」
昭和42年 みやま書房発行（非売品）

このうち明治天皇の奉祀を昭和十五年に陳情したのが、衆議院議員の木下成太郎であった。成太郎の家系は豊臣秀吉の重臣に連なると伝えられる。また父・弥八郎は幕末の動乱を生き、桜田門外の変にも関わった武士で、維新の激動をくぐり抜けた人物である。明治十五年、一族とともに北海道へ渡り、後に南十条西二丁目に邸宅を構えた。

その生涯は開拓に身命を捧げたものであり、今も三角地帯に残る石碑が、往時を静かに物語っている。

成太郎自身も政治家となり、若き日には自由民権運動に身を投じた。時に政権に抗しながら、この地の発展に関わった熱血の人である。中島公園に立つ像は、その歩みの一端を今に伝えている。

祭囃子に耳を澄ませば、聞こえてくるのは単なる季節の訪れではない。開拓に挑んだ人々の鼓動、揺れる時代を生き抜いた息づかい、そしてなお続く祈りである。札幌まつりとは、明治の始まりとともに刻まれた、再生の記憶なのだ。



著 / 民衆史研究家 石川圭子

共生

アイヌ民族文化財団

理事長 常本 照樹



昨年公開され、実写邦画興行収入で歴代1位になった「国宝」。ご覧になった方も多いのではないでしょうか。主人公・喜久雄のモデルとも言われる人間国宝・五代目坂東玉三郎丈が、今年2月1日にウポポイに「降臨」しました。

歌舞伎の三大名作の一つとされる義経千本桜に登場する船問屋・渡海屋銀平は「^{あつし}厚司」と呼ばれる着物をまとって現れます。この衣装は、アットウシというアイヌの伝統的な着物に由来します。アットウシは、オヒョウニシなどの木の内皮から作られる糸で織り上げるアイヌ独特の着物です。アイヌの人々にとっては生活や儀礼に欠かせないものでしたが、木綿とは違って水を吸わず、速乾性、防風性にも優れていたため、北海道の物産を本州各地に運んでいた北前船の船頭たちも好んで着るようになったのです。アイヌ文様の華やかな装飾も粋でした。

和人社会との交易は時代とともに変化し、アイヌにとって長い苦難の時代もありました。しかし、そのような中でも、アイヌの人々が入手、生産したさまざまなものは、交易を通して日本の社会と文化に影響を与え続けました。歌舞伎に登場するアットウシも、アイヌ文化と和人社会の交流を示すものと言えるのです。



▲義経千本桜

ウポポイのステージでは、玉三郎丈の舞う儂く美しい「残月」と全てアイヌ語で演じられる「イノミ」の競演が、多くのお客さまの感動を呼びました。ふだん、なかなかアイヌ文化に触れる機会がない皆さまに、ウポポイに訪れていただく貴重な機会を設けることができましたと思います。これからもこのようなイベントを実施していきたいと考えておりますので、是非、お楽しみに！

年間行事表 5～7月

5月	6月	7月
1日(金) 宗祖親鸞聖人御誕生法要 初参り式・花まつり 11:00～ 本堂 山鼻支院婦人会定例 13:00～ 相河朋昭(芦別市 光明寺)	1日(月) 山鼻支院婦人会定例 13:00～ 江隈 智(京極町 廣徳寺)	1日(水) 曉天講座 6:30～ 本堂 尾畑文正(名古屋市 泉称寺) 山鼻支院婦人会定例 13:00～ 岸田 理(室蘭市 浄誓寺)
2日(土) 札幌婦人会定例 13:00～ 研修室 金石晃陽(蘭越町 光福寺) 豊白支院婦人会定例 13:00～ 相河朋昭(芦別市 光明寺)	2日(火) 札幌婦人会定例 13:00～ 研修室 中村俊風(芽室町 廣證寺) 豊白支院婦人会定例 13:00～ 江隈 智(京極町 廣徳寺)	2日(木) 曉天講座 同上 札幌婦人会定例 13:00～ 研修室 尾畑文正(名古屋市 泉称寺) 豊白支院婦人会定例 13:00～ 岸田 理(室蘭市 浄誓寺)
3日(日) 現来寺支院婦人会定例 同上	3日(水) 現来寺支院婦人会定例 同上	3日(金) 曉天講座 同上 現来寺支院婦人会定例 同上
4日(月) 北三条支院婦人会定例 同上	4日(木) 北三条支院婦人会定例 同上	4日(土) 東西二人会(落語) 開場13:00 開演13:30～ 大谷ホール 北三条支院婦人会定例 同上
5日(火) 円山支院婦人会定例 同上	5日(金) 円山支院婦人会定例 同上	5日(日) 円山支院婦人会定例 同上
6日(水) 北支院婦人会定例 同上	6日(土) 北支院婦人会定例 同上	6日(月) 北支院婦人会定例 同上
8日(金) ひがほん暮らしの朝市 10:00～14:00 境内 開基現如上人御命日法要 13:30～ 本堂 延塚圭太(別院職員) おつとめ教室 15:00～ 大谷ホール 札幌別院職員	8日(月) ひがほん暮らしの朝市 10:00～14:00 境内 開基現如上人御命日法要 13:30～ 本堂 高月賢志(別院職員)	8日(水) ひがほん暮らしの朝市 10:00～14:00 境内 開基現如上人御命日法要 13:30～ 本堂 館 行成(別院職員)
9日(土) ひがほん暮らしの朝市 (札幌市仏教連合会花まつり特別開催) 10:00～14:00 境内		10日(金) おつとめ教室 15:00～ 本堂 札幌別院職員
		11日(土) ひがほん子ども夏まつり 13:00～15:30 大谷ホールロビー
12日(火) 大谷婦人会定例法座 13:00～ 本堂 中西志香(中札内村 同朋寺)	12日(金) 大谷婦人会定例法座 13:00～ 本堂 古卿自然(安平町 光専寺)	12日(日) 大谷婦人会定例法座 13:00～ 本堂 武田龍太郎(当別町 大成寺)
	13日(土) おつとめ教室 15:00～ 大広間 札幌別院職員	
16日(土) 親鸞講座 15:00～ 大谷ホール 小泉元瑞(江別市 瑞雲寺)		
17日(日) 仏教講座「あなたの知らない終活の世界」 14:00～ 大谷ホール 森 享枝(名越会計事務所)		
	18日(土) 親鸞講座 15:00～ 大谷ホール 小泉元瑞(江別市 瑞雲寺)	
	19日(日) 仏教講座「葬儀にまつわるウソ、ホント」 14:00～ 大谷ホール 中島浩盟(極楽堂はなや)	
	20日(土) 永代経法要・門徒物故者追弔会 13:30～ 本堂 雲井一久(神奈川 真照寺)	
	21日(日) 同上	
22日(金) おつとめ教室 15:00～ 本堂 札幌別院職員		
24日(日) ひがほん暮らしの朝市 10:00～14:00 境内		24日(金) おつとめ教室 15:00～ 本堂 札幌別院職員
	26日(金) おつとめ教室 15:00～ 本堂 札幌別院職員	26日(日) ひがほん暮らしの朝市 10:00～14:00 境内
27日(水) 宗祖親鸞聖人御命日法要 13:30～ 本堂 寺澤三郎(土別市 教證寺)	27日(土) 宗祖親鸞聖人御命日法要 13:30～ 本堂 名畑 格(下川町 名願寺)	27日(月) 宗祖親鸞聖人御命日法要 13:30～ 本堂 皆田法士(札幌市 清風寺)
28日(木) 同上	28日(日) ひがほん暮らしの朝市 10:00～14:00 境内 同上	28日(火) 同上

退職	令和8年3月31日付	列座	曲尚之
		寺務員	石岡政春
奉職	令和8年4月1日付	列座	浅井歩
		寺務員	清谷文雄

永代経・寄贈披露

尊い浄財及び寄贈を賜りました。ここに披露申し上げます。

○永代経

【本院】	【現来寺】
新野 芳久 様 西区	猿田 光子 様 北区
北島 睦雄 様 西区	三好 麗子 様 北区
川上 圭一 様 中央区	横濱 茂 様 手稲区
山田 光秀 様 中央区	
本保 勝良 様 中央区	

団体参拝

お参りいただきありがとうございました。

4月6日 第4組札幌第一地域研修会 様

○お詫び

前号「さっぽろ東本願寺」3月号で誤りがありました。訂正し、謹んでお詫び申し上げます。

10面	【正】同和推進本部	【正】『身同』
	【誤】和推進本部	【誤】『同身』



表紙紹介

Title 6月の羊蹄山(ニセコ)
Photo 菊池 恵子

永代経法要・門徒物故者追弔会

- ◆ 日時：6月20日(土)・21日(日)
- ◆ 時間：両日13:30～
- ◆ 場所：札幌別院本堂
- ◆ 法要：永代経法要 並びに 門徒物故者追弔会
- ◆ 法話：雲井 一久 氏(神奈川県 真照寺)
- ◆ 法講題：「南無阿弥陀仏～信心の内景～」

どなたでもお参りできます。

暁天講座

- ◆ 日時：7月1日(水)～3日(金) 午前6:30～8:00頃まで
- ◆ 場所：札幌別院 本堂
- ◆ 講師：尾畑 文正 氏(元 同朋大学学長)
- ◆ 講題：「淤泥華に思う～濁世の只中に念仏あり～」
※協賛各社のご厚意により軽食を準備しております。

無量寿の会

札幌別院にて毎月2回13時から
お寺で俳句を詠んでいます
講師 荒船青嶺先生に教わります

札幌別院機関紙 令和8年5月掲載句

馬術部の早朝騎乗夏はじめ
老木も若木も伸びる風は初夏
東風吹くや群来の兆しに騒ぐ浜
東雲に嶺々浮きて蝦夷の春
芸妓皆東踊の総復習

鳴兔 正吉
齊藤 和加
増田 植歌
西田美智子
置田 正子

テレホン法話

(011)511-1313

- 5月前半 本尊 巖城 孝明
- 5月後半 生命を感じて 月輪 淳裕
- 6月前半 人としての道 老松 雅
- 6月後半 朝夕のお勤め 秋山 誠

『つきあかり 東別院テレホン法話集』より

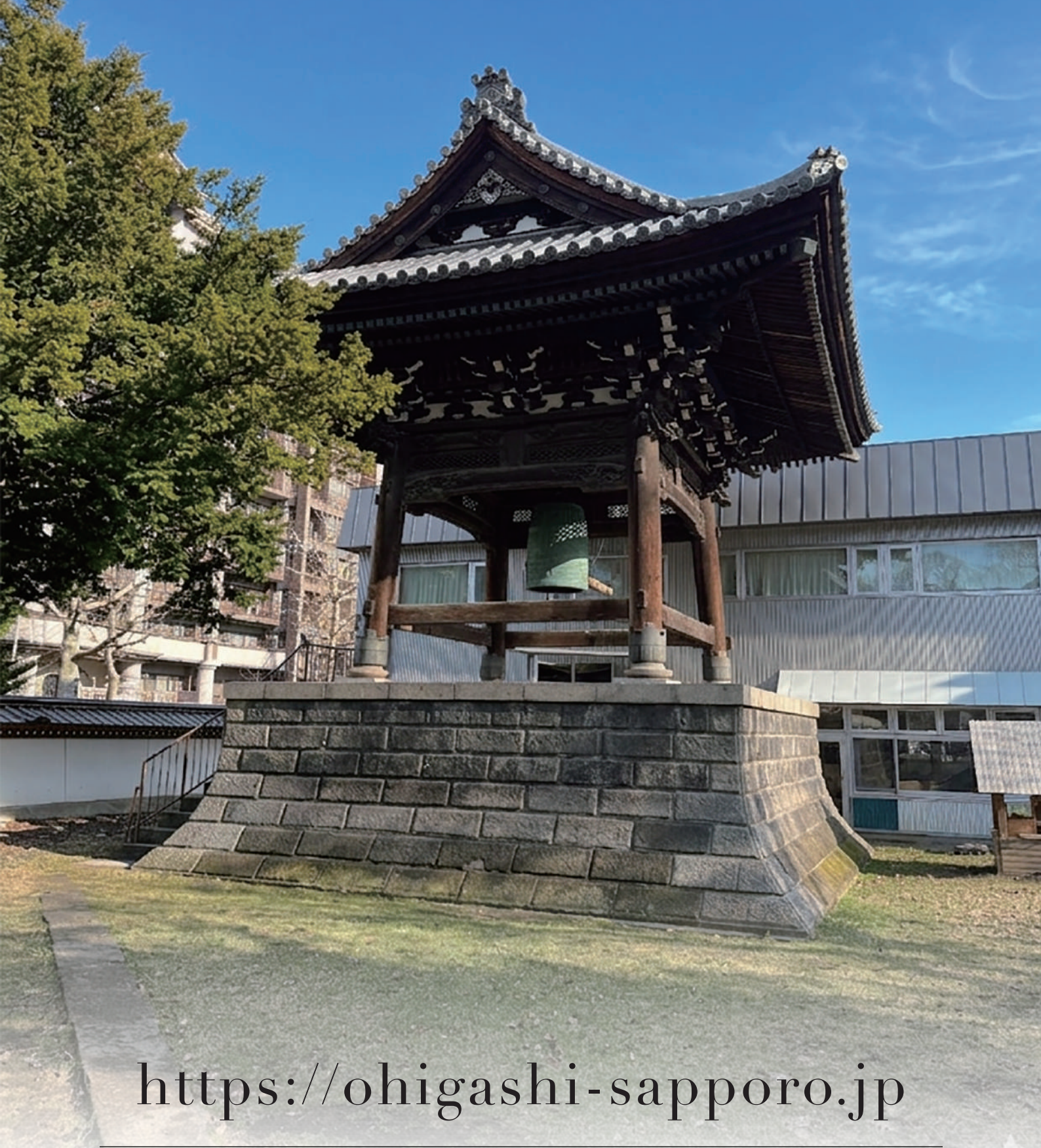
編集後記

最近、私はどのようにしたら門徒さんにお寺に足を運んでいただけるのだろうかと考えている。とある研修会で講師の先生が「子どもがいるとお寺が元気になる」と仰っていた。私はこれを聞いた時、子どもがお寺で遊んでいる間は、にぎやかで穏やかな空気になるからだ、そう考えた。

しかし先生が本堂に伝えたかったのは、「子どもがお寺で遊ぶと、その思い出を父や母、祖父母に話す。そして今度はその子どもの父や母、祖父母が私達僧侶にあった時に、その事を嬉しそうに話してくれる。子どもを通じて、自然と関わる機会が増える。子どもが法を運んでくれる」ということだと仰っていた。

このお話を聞いて、子どもの持つ影響力は自分が思っている以上に大きいものであるということを知ることができた。人の御縁というものは、自分の思いを越えて繋がっていくということを深く実感した。

(至)



<https://ohigashi-sapporo.jp>



東本願寺 札幌別院

〒064-0807 札幌市中央区南7条西8丁目290
TEL.011-511-0502
E-mail. ohigashi@abeam.ocn.ne.jp

地下鉄南北線「すすきの」駅で下車
→市電外回り「東本願寺前」徒歩1分

WEBは▶
こちらから



LINEスタンプ



さっぽろ東本願寺 2026 5月号No.246
(発行人) 真宗大谷派札幌別院
(代表者) 坂田智亮